

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 20日 更新

事務事業名	ラジオ体操による市民の健康づくり事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	栗木 清智
	施策	5	健康づくりの推進			所属課	生涯学習課	担当者名	大賀 盛博
	施策の柱	19	病気になるらない生活習慣の確立			所属班	スポーツ振興班	(内線)	1509
予算科目	会計一般	款 10	項 6	目 1	事業連番 11641	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 27 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	「健康都市こうし」としての取組として「ラジオ体操による市民の健康づくり」を実施する。子どもから高齢者まで幅広い世代で手軽に取り組むことができ、各世代に認知度が高く、継続性、市民のコミュニティ活性化も期待できる。
【業務の流れ】	・ラジオ体操の現状を把握し、ラジオ体操指導員として世話人となる熱意ある人の募集を行い、講習会受講し養成を図る。 ・学校・企業・市民へ啓発を図る。 ・各地区へ担当職員を配置しラジオ体操への取組について事業の必要性を示す等実施の依頼を行う。 ・市役所でも職員が率先的に取組を行う。
【主な予算費目】	・(指導者講習会) 報償費(謝金)・負担金(指導員認定費) ・(普及促進・運営事業) 職員手当等(時間外)
【意見や要望】	市民より健康づくりとして「ラジオ体操実施」の提案があった。現在、各地区で自主的に毎朝ラジオ体操を実施しているグループがあり、実施することにより「笑顔で挨拶すると気持ちが晴れ晴れする」など前進的な意見が続出しているとの意見が寄せられている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
・市民の健康づくりを目的とし、職員を各地区に振り分けてあるが、実施していない行政区との開催調整及び説明会が実施されなかったため。また、指導員育成等を実施する予定だったが、認定員講習会等が実施できなかったため。	・ラジオ体操で市民の健康づくりに取り組む
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア ラジオ体操指導者講習会の参加者数	ある程度普及してきたため地区担当職員の時間外勤務手当を減額
→ イ ラジオ体操に取組行政区数	箇所
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	(単位) 人
	→ ア 参加した人数
	→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
健全な生活習慣を身につける	(単位) 箇所
	→ ア 自主的に活動を行い始めた団体の数
	→ イ
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込
① 活動指標	人	0	0	20	0	20	20	20	20	
	箇所	55	55	75	55	75	75	75	75	
② 対象指標	人	1,845	1,950	1,500	2,000	1,600	1,700	1,800	1,900	
	箇所	55	59	75	59	75	75	75	75	
③ 成果指標	人									
	箇所									
投資 入 費 量	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	455		170	30	50	50	50	50
	(A) 事業費計	千円	455	0	170	0	30	50	50	50
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	5	2	4	2	4	4	4	4
延べ業務時間	時間	190	20	200	20	200	200	200	200	
(B) 人件費計	千円	0	79	796	78	796	796	796	796	
トータルコスト(A)+(B)	千円	455	79	966	78	826	846	846	846	

事務事業名	ラジオ体操による市民の健康づくり事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 実施地区、団体ともに目標値に達しなかったが、参加人数は増加傾向にあり目標値を達成した。
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 未実施地区へ出向き、引き続き理解を得る対応をとることで、目標達成の見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 引き続きの対応をとることで、向上の余地あり。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 市民が自発的に行動する健康づくり事業で、他に類似の事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 市職員を地区ごとに担当として割り当てており、地区ごとで自発的に展開が広まれば、人件費が削減できる。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業が浸透することで、職員の対応が削減できる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象としている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市民の自発的な活動が増えれば、市民に任せることができる。

3 評価結果の総括 (CHECK)

現在55地区・4団体で実施。更に多くの市民に参加してもらえよう、地区または団体ごとの状況に合わせた対応が必要となる。また、指導者育成を図りながら、市民が自発的に活動できるよう対応も必要となる。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) </p> <p>事業が浸透し、各地区が継続して取り組むことで目的が達成され、対応する職員が削減される。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			△	低下			△
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			△																		
	低下			△																		
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						